

会 議 録

会議の名称	令和3年度 深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会 会議
開催日時	令和3年8月10日(火) 18時00分開会 18時45分閉会
場 所	深川市役所3階大会議室
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 (18:00 開始) 2. 委嘱状交付 (18:01~18:02) 3. 市長あいさつ (18:02~18:12) 4. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 会長及び副会長の選任について (18:12~18:16) (2) 第2期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略令和2年度実績評価について (資料説明等 18:17~18:43) (3) その他(18:43~18:44) 5. 閉会 (18:45 終了)
出席委員	22名
欠席委員	2名 (川中孝行委員、早川達也委員)
事務局	企画総務部企画財政課企画係 3名 (佐藤課長、山崎係長、野原主事)
会議資料	<p>【資料1】議案</p> <p>【資料2】委員名簿及び実績評価 班編成表</p> <p>【資料3】深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会設置要綱</p> <p>【資料4】第2期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略令和2年度実績評価</p> <p>【資料5】令和2年度実績評価シート1・2</p> <p>【資料6】令和2年度実績評価一覧 (数値目標・KPI)</p> <p>【資料7】令和2年度実績評価一覧 (事務事業)</p> <p>【資料8】事前検討シート</p>
会議の概要 (発言要旨)	
発言者	議題・発言・結果等
山下市長	<p>3. 市長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日はお疲れの中、またお忙し中お集まりいただきありがとうございます。 ・今ほど委嘱状を交付させていただいたが、お引き受けいただきありがとうございます。 ・総合戦略の話の前に、深川市におけるコロナの情勢について話をさせていただきたいのだが、深川市では直近で3件の陽性患者が出ており、今後も懸念される状況が続くと思うので、マスクの着用や三密の回避、また、ワクチン接種を早めに打っていただくよう、協力願いたい。 ・さて、総合戦略の話に戻るが、2014年に中央政府によって突如「地方創生」という施策の取組みが始まり、流行していった。 ・地方創生に関する、まち・ひと・しごと創生法も制定され、全ての自治体で、人口の将来展望を示す人口ビジョンと、それを達成するための総合戦略の策定が始まり、本市でも2014年に策定をした。

	<ul style="list-style-type: none"> ・戦略内に掲げる事務事業を進め、毎年評価を行っており、令和元年度に第1期が終了した。 ・第1期の総合戦略では本市の地方創生に一定の効果があったものと評価している。 ・また、令和2年度に第2期総合戦略の策定をしているが、第1期と構造は同じものとし、4つの基本目標を掲げ、さらにSDGsの要素なども加味した内容で策定している。 ・令和2年度より第2期がスタートし、戦略内で掲げている目標を達成するために事業を進めてきた。 ・本日はその評価をしていただくとともに、各団体より、様々な観点からご意見をいただき、それらを加味し、まちづくりを進めていく。
遠藤会長	<p>4. 会長及び副会長の選任について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化、高齢化が進む中で、深川市を維持していくために、まち・ひと・しごと創生総合戦略内の事業を推進していくこととしているので、本日は各委員のご意見を多数いただければと思う。
川眞田副会長	<p>4. 会長及び副会長の選任について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃から本校（拓殖大学北海道短期大学）の推進にご協力いただきありがとうございます。 ・微力ながら一生懸命頑張るのでよろしくお祈りします。
事務局 (野原主事)	<p>5. 議事</p> <p>(2) 第2期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略令和2年度実績評価について 資料及び今年度の評価方法について事務局から説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「資料④ 第2期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略令和2年度実績評価について」 <ul style="list-style-type: none"> ・第2期総合戦略では、計画期間における各種施策を着実に推進するため、総合戦略の実施状況や効果を検証し、必要に応じて見直しを行うPDCAサイクルを実施することとしている。 ・評価の流れは、庁内で自己評価を行い、外部有識者に評価いただき、庁議、決算審査特別委員会で図ることとしている ・評価方法については各施策の評価を担当課ごとに行ってきたので、本日数値目標とKPIを対象として委員の皆様からご意見等をいただき評価とする。 また、担当課責任者の評価について反対意見等がなければ、担当課責任者の評価どおりとする。 ・なお、事務事業は担当課評価のみとしている。 ■「資料⑤ 令和2年度実績評価シート」 <ul style="list-style-type: none"> ・各数値目標と、KPIを評価する個別シートとなっている。 ・それぞれに当該年度の実績値、担当課責任者の評価、今後の方向性を記載しているほか、事務事業の担当課評価についても記載しているもの。 ■「資料⑥ 令和2年度実績一覧（数値目標、KPI）」 <ul style="list-style-type: none"> ・数値目標、KPIの評価を一覧にまとめているもの。 ・記載内容に一部誤りがあったため修正させていただきたい。 基本目標1の数値目標「主要作物作付面積」について、 単位が「トン」→「ヘクタール」 実績値が水稻 5,148ha、小麦 677ha、大豆 463ha、そば 2,627ha ■「資料⑦ 令和2年度実績一覧（事務事業）」 <ul style="list-style-type: none"> ・事務事業の評価を一覧にまとめているもの。
遠藤会長	<p>事務局から、資料内容と評価方法について説明があったが、質問等はないか。なければ、事務局から提案のあった形で実績評価を行うこととする。</p>
事務局 (野原主事)	<p>5. 議事</p> <p>(2) 第2期深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略令和2年度実績評価について 令和2年度実績評価について事務局から説明</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・資料⑥と⑦を用いて、R2 評価の説明をする。 ・KPI は実績値に応じて①～④の凡例の中で、担当課により評価をしているもの。 ・なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、実績値が現状値を下回った施策は全て④に統一している。 ・従って、仮にこの先、コロナが終息した場合、実績値が現状値を下回った施策は全て③に統一されていくものとなる。 ・R2 実績は、①が 18 項目、②が 9 項目、③が 8 項目、④が 17 項目となっている。 ・①の評価となった施策としては、「移住件数」などがあげられる。この施策では、地方移住への関心の高まりが、従来の都市部へ向けた継続的な取り組みとリンクし、道外からの移住者増に結びついたことが要因として考えられるもの。 その他は「ふかがわポーク等加工品の販売額」や、「有害鳥獣捕獲頭数」などが①の評価としている。 ・②の評価となった施策としては、「広里工業団地内企業の雇用者数」などがあげられる。この施策では、企業誘致の継続的な取り組みにより、平成 27 年度以降に操業開始した企業立地助成対象の 3 企業全てで雇用者が増加しているなど一定の成果を得ることができている。 その他、「乳幼児健康診査及び 1 歳 6 カ月・3 歳児健康診査の受診率」や「高齢者バス利用料金助成事業登録者数」などが②の評価としている。 ・③の評価となった施策としては、「主要作物作付面積」などがあげられる。この施策では、コメの作付面積の維持・拡大を基本に、今後はそばから国が掲げる戦略作物の「麦・大豆」への作付誘導を図ることとしている その他は、「各除雪の相談対応件数」などが③の評価としている。 ・④の評価となった施策としては、「市外物産イベントにおける出店回数」などがあげられる。この施策では、新型コロナウイルス感染症の影響で市外イベント出店を通じた PR 活動が大半中止となったことにより目標達成には至っていない。 その他は、「ふかがわシードル等果実酒の製造数量」などがあげられる。 ・今後の方向性は、①の関連事務事業が効果的であったことから取り組みの追加など更に発展させるが 0 項目、②の関連事務事業を継続するが 46 項目、③の関連事務事業等の内容の見直しを行うが 6 項目となっており、計画初年度ということもあることから、②としている事業が多くあるもの。 ・事務事業は、①の「本事業は地方創生に有効であった」が 63 項目、②の「地方創生に対して引き続き一層の努力が必要」が 2 項目、③の「本事業が地方創生に対して有効かどうか現時点では判断できない」が 23 項目となっている。 ・これらの評価に対して、事前に森岡委員より、KPI②の「地域おこし協力隊の新規任用者数」について意見をいただいている。 ・内容は、平成 25 年度から進めている事業で、11 名の隊員任用をしている中で、定住者が 1 名となっている理由をどのように把握しているか。また、今後の移住・定住推進事業に参考となることはないか。
横井地域振興課長	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、隊員が理想とした活動内容と現実の活動とのギャップやミスマッチといったことがあげられ、この点については募集段階でより具体的な活動内容を示すなどして対応を図っているところ。 ・それ以外に、任期終了後の就職先の確保が重要と考えており、現在は隊員の研修先を、将来の就職先の選択肢となり得るようなところに設定しているので、こうした対応が今後の定住者増につながることを期待しているところ。 ・また、このような仕事に関しての対応は、移住・定住推進事業にも参考となる共通課題のひとつと考えているので、協力隊の活動支援を通じて得られたノウハウをフィードバックするなど、十分に連携を図って事業を推進していくことで考えている
事務局 (野原主事)	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にあった意見等は以上。 ・このほかに反対意見等がなければ、各施策について担当課責任者の評価どおりとさせていただきます。 ・評価についての説明は以上。
遠藤会長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局から実績評価について説明があったが、質問等はないか。

三ツ井委員 (社会福祉協議会)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2点質問をさせていただきたい。 ・ 1点目は、基本目標1の中で、本市の主要作物の事について目標を設定しているが、なぜ数値目標では面積を、KPIでは生産量としているのか。 ・ 深川市除排雪オペレータ養成事業について、有効であったと評価しているが、オペレータが不足してきているなかで、成果がでている要因等があれば教えてほしい。
事務局 (佐藤課長)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要作物の質問については、この場では詳細がわかりかねるので、後日、担当課に確認した上で、委員の皆様へ回答をさせていただく。 ・ 深川市除排雪オペレータ養成事業については、本市では除排雪オペレータ養成事業助成を行っており、これは大型免許を取得する際の助成をするもので、この取り組みにおいて成果が出てきていることなどが要因として考えられる。
遠藤会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ この他にないようなので、第2期総合戦略の令和2年度実績評価については、担当課責任者の評価どおりとする。 ・ これで、(2)の議題を終了する。 ・ 最後に、議題の(3)その他に移る。事務局から何かあるか。なければ、以上で本日の会議を終了とする。

当日質疑への回答

Q1	基本目標1に係る数値目標及びKPIについての質疑。数値目標を「主要作物作付面積」、KPIを「農産物生産量」と設定している理由について問う。
A (農政課)	数値目標については、天候に左右される生産額は目標値とせず、天候に左右されない目標値として、主な土地利用型作物の作付面積として設定しているもの。KPIについては、効率的・省力的な作業の推進、生産性・品質向上のほか、販売拡大のための取組みであるため、農業生産量をKPIとして設定しているもの。
Q2	深川市除排雪オペレータ養成事業について、近年ではオペレータが不足していると思われる中で、成果が出ている要因について問う。
A (都市建設課)	除排雪作業に従事するオペレータについては、高齢化などによる人員の減少が進んでいますが、事業者の従業員にはオペレータの資格取得に意欲があり、事業者も資格取得を推奨し後押ししています。しかし、資格取得には多額の費用を要することから事業者が負担する費用の一部を助成することで、資格取得に向けた免許試験や技能講習を受ける人が増えることにつながり、ひいては資格取得といった成果にもつながっています。